

“伝承” 若者が受け継ぐ

田楽 腰輪踊

九月十五、十六日の両日、三隅八幡宮にて秋の大祭が行われ、伝統の県指定無形民俗文化財「腰輪踊」が奉納された。

この踊りは、雨乞、虫追い、牛馬安全を主に祈念するかわら、安全と万民息災をも祈願する奉納芸能・神事芸能で、胴取り二名、団扇使い二名、鉦打ち十数名（小学生）で構成されている。

▲ 奉納された中村腰輪踊



▼ “花揃い、（豊原自治会）



自然の猛威に対しては神仏の加護に頼る外には、これを避ける方法がないとした気持ちで、農民たちを神仏のもとへ走らせ、全霊をささげての祈願となり、遂にこの「踊り」となったと伝えられる。このような村人達の真剣な誓は、変転著しい社会事情のなかにあつて、また費用の増大に悩みながらも、町内各自治会共一致して永くこれを伝承し続けようとしている所以もここにあるといわれよう。

● 花揃い

十三日（現在は特定の日を決めていない）である。役者の練習の総仕上げで、衣裳、花飾りを完了する。



第5回山口県婦人消防操法大会

三隅町 3年連続優勝

優勝

野波瀬支部

準優勝

中村支部



▲ 優勝した野波瀬支部

▼ 準優勝の中村支部



九月二十五日、山口県消防学校において、第34回山口県消防操法大会兼第5回山口県婦人消防操法大会が開催されました。

本町からは応急操法に野波瀬分団、婦人水バケツ消火競技に、野波瀬、中村両婦人消防隊が参加しました。各チームとも日頃の練習の成果を十分に発揮し、すばらしい成績を収めました。

（結果は次のとおり）

水バケツ消火競技
 優勝 野波瀬支部
 準優勝 中村支部

8位 野波瀬分団
 選手及び関係者の皆さん長期間大変ご苦労さんでした。